

輝け!! 私たちの未来

HIGO ECO がまおだせ 新聞

発行日 平成31年1月
発行者 熊本市立砂取小学校
5年 田代あゆ美



熊本の水資源保護啓発プログラム

熊本は阿蘇が生んだ地
下水都市。およそ10万人
以上が地下水で暮らしてい
ます。この地下水を中り
育むためにも肥後銀行は活
動されています。私たちは
森林を守り、田んぼを守り、
節水に心がけ、水を汚すな
と心掛けて水の量を
増やし水を守って生ませま
す。

熊本が大好きでよかった!!
私は、地元肥後銀行のエコ色んなエコが盛り込まれて
活動について紹介します。
肥後銀行の本店営業部は
47年に新しくなり、その建
物は銀行とは思えない程お
しゃれ大好きです。そこには
紹介したいと思えます。
本店の各階さん
ぜひ銀行のエコ活動を
知ることを知り、そんなス
てきな銀行のエコ活動を

肥後銀行の地下水保全活動としての3本柱!



- 森林** 水源かん養林の育成。「阿蘇大観の森」植樹
- 水田** 水源かん養林機能の活用。阿蘇水田の棚田において水田下。
- 草原** 水源かん養林機能の保全。阿蘇の草原にマダコを植樹。

※水源かん養林とは、大雨がふった時の急激な増水をおさえ、しばらく雨がふらなくても流出がとどまらぬようにするなどの水源山地から河川に流れ出る水、量や時期に関わる機能です。

今、私にできることは...

- I 使わない部屋の電気を消す
- II 歯ブラシと歯磨き粉をエコにする
- III 阿蘇の里山にボランティアに参加する
- IV 食の残りを減らす
- V 公共の場所を利用する

編集後記
私は、初め銀行はお金を貸し借りする所だと思っていました。けれど、今回調べてみて、沢山のEco活動をしていることが分かりました。特に、建物にまで工夫してEco活動をしている。これを知ることで、地球を守ることもできると思えました。この新聞作りを通して、熊本のみんなにも、みなさんに伝えたいなと思います。熊本は、まだまだ地層による被害で復興できていない場所も沢山あります。みなさん、熊本を応援してください。「がまだすけん」

こんなエコ活動も!!

- 本店ビルは、太陽光発電装置やLED照明以外にも、使用している水の約6割を雨水でまかなっている。
- 建物北側のエントランスには、大気汚染の浄化を目的とした吸収能力が高いオアシタビニスを植栽している。
- 早帰りの促進により、エネルギー使用量の削減
- 「ノーネクタイ」「ノーネクタイ」「ノーネクタイ」
- 夏季のビジネス装と冷房の温度管理をテーマに、クールビズ

環境対策のお手帳

商品とシマン、ハイブリッドビジネスローン、ハイブリッドカー購入をお手伝いする。肥後銀行マイカーローン、マイカーローン金利を優待する。優待メニューがある。

2016	2017
0.02795 kWh/m ²	0.02690 kWh/m ²

取組目標 5年間でマイナス%

※1階あたりのエネルギー使用量

● 環境に配慮した審査制度：環境保全に関する設備投資やEco取得など企業の環境問題への取り組み実績も評価項目へ加えている。